

大隅半島・船間

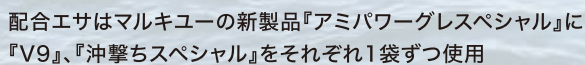
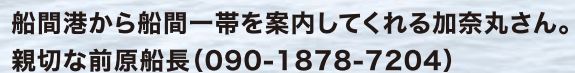
野間 辰美



南方沖にうっすらと種子島～馬毛島を望む

マ
キ
エ
サ

釣行前日、船間の加奈丸(前原
(090・1878・7204)さ
んに予約の電話を入れ、最近の状
況をお聞きすると、「台風のウネ
リや時化でほとんど出船できて
ないから状況は、解らない」との
ことで「エー、どうしよう」とりあ
えず、まだ10月なのでエサ盗りは
多いだろうと判断し、多めのマキ
エサを準備します。まずオキアミ
の生3kgを2角、ジャンボアミ
1角、ツケエサにオキアミ生を半角
(1.5kg)それにマルキューの配合
エサに新製品の『アマバワグレ
スぺシャル』を1袋。V9を1
袋、沖撃ちスぺシャルを1袋を



実釣

今回、上がった磯は、「瀬の上」で10名程は、乗れる大きな磯です。船間エリアの中間的な所にあり、いろ

準備し、これを2回に分けて作ります。

新製品の『アミパワーズ スペシャル』は、軽比重で、魚を浮かしやすくして食いを促進させて持続させる役目で、V9は集魚効果とまとまりを重視し、沖撃ちスペシャルは遠投タイプで、白系のにごりで先打ちのマーカー的な役割を持たせて使ってます。

磯場選び

10月25日(日)に鹿児島県の大隅半島の太平洋側に位置する船間の磯に行って来ました。口ケツト基地のある内之浦の南側に位置し、沖磯は少なく、地磯が延々と続く広大な磯です。エリアも広く、渡船屋さんも5隻程あり、週代わりで当番が代わり、しっかりと管理されている釣り場です。また一帯はドン深の水深が多く、大型イシダイの実績が高く県内外から多くのイシダイファンがデカハンを求めて来られるメジャーフィールドです。

またクロの型も良く、内之浦周辺から本土最南端の佐多岬まで、毎年、2kg超え、50センチオーバーが数多く釣れる夢のフィールドです。そんな中、まだクロの時期には少し早いと思いつつ、何とか一匹、良型の口太グロが釣れればいいな気持ちで、行って来ました。今回は、私なりの見解で試行錯誤して考えて釣ってみたいと思います。

秋のク口釣りは、一年を通して一番難しいと私は思ってます。それは、まず高水温で水温が25度台から下がって22度台で、エサ盗りが非常に活発で、なかなかク口の口元まで、エサを運ぶのが難しい。そして、渡りグ口が入って来るまで居付きのク口がターゲツトになりますが、数がそんなに多



6時30分、「瀬の上」より望む太平洋からの日の出

朝陽に染まる船間の磯



オキアミの袋に残った汁・エキスも
混ぜ合わせますヨ！

『アミパワーグレススペシャル』はアミエビ+オキアミの粉末や新MP酵母、M.S.P(未来型<超摂餌ペレット>)などが配合され、ク口を寄せて食わせ、持続させます

る感じですが、小潮の最終日なので、あまり潮動きはないだろうと考えます。

実際、マキエサをまいてみる
と潮は止まっている感じ(朝7
時30分頃)。エサ盗りは居るが少
ない。ク口も居るけど小グ口で、
底の方に何か居る感じです。
しばらくマキエサを入れ続け
ていると、潮がわずかに右に動
き出し、エサ盗りや木ツ葉グ口が
多く確認できるようになり、さら